JSOP 日本海洋政策学会
第 15 回年次大会

◎統一テーマ　：　『総合的な海洋の安全保障とは：第４期基本計画を読む』
◎日　　時　：　2023 年 12 月 2 日（土）　9：30～18：00（交流・懇親会 18：00～）
◎場　　所　：　東京大学　小柴ホール（本郷キャンパス　理学部１号館２階）
　　オンライン（ウェビナー）参加も受付

◎プログラム

09：30　開会挨拶　　日本海洋政策学会長　坂元　茂樹

09：40　基調講演
「 第４期海洋基本計画及び海洋開発重点戦略について 」
　　内閣府総合海洋政策推進事務局長　　宮澤　康一
「 ユネスコ政府間海洋学委員会(IOC)の現状と課題 」
　　東京大学大気海洋研究所 教授、IOC/UNESCO 議長　　道田　豊

10：50　研究発表（その１）　　座長：都留　康子（上智大学）

（１）　WTO 漁業補助金協定に対する暫定評価：国連海洋法条約の視点から
　　猪又 秀夫（東京海洋大学）
（２）国連公海漁業実施協定における開発途上国に対する援助義務の法政策的意義
　　-太平洋島嶼国への援助を中心に-　　吉原 司（姫路獨協大学）
（３）韓国の海洋保護区（MPA）制度について　　河 錬洙（ハ ヨンス）（北海道教育大学）

12：05～12：20　第 15 回 定例総会（書面審議報告）

＜12：20～13：20　昼食＞

13：00～13：30　ポスター セッション　（小柴ホールロビー）

［１］日本のアルゴ計画への貢献方策～米国、オーストラリアおよびドイツとの比較分析～
　　磯野 哲郎（神奈川大学）
［２］沿岸の総合管理と海洋状況把握に向けた鳥羽市のレッドデータブック
　　佐藤 達也（ざっこ CLUB 代表）
［３］省庁間連携にむけた海洋関連基本計画の分析（中間報告）　　但馬 英知（水産研究・教育機構）
［４］里海と里海コミュニティの関係を捉える試み－価値概念と関係人口の視点から
　　立花 佐和子（近畿大学）
［５］根拠に基づく海洋政策立案のための政策評価手法の提案－ブルーエコノミーを事例として―
　　田中 元（笹川平和財団）

13：30　学生小論文　表彰式

14：00　研究発表（その２）　　座長：脇田 和美（東海大学）

（４）係争海域の暫定管理とその課題―関係国の信頼醸成をめざして―
　　下山 憲二（海上保安大学校）
（５）海洋ごみに関する国際規範形成と日本の関連国内法～日本の経験が寄与しうる点～
　　樋口 恵佳（東北公益文科大学）
（６）衛星 VDES の社会実装に向けた有益性実証について　　田中 広太郎（笹川平和財団）

（7）ロンドン海洋投棄条約における気候変動緩和のための海洋介入（海洋ジオエンジニアリング）への対応　　藤井 麻衣（笹川平和財団）

＜15：40～15:50　休　憩＞

15：50　パネル・ディスカッション
テーマ：『海底の安全保障：持続可能な海洋へ』
モデレータ：　加々美　康彦（中部大学）
パネリスト：　佐藤　徹（東京大学）
篠原　雅尚（東京大学）
白山　義久（JAMSTEC）
中神　正康（水産研究・教育機構）
藤原　敏文（海上・港湾・航空技術研究所）

17：50　閉会挨拶　　日本海洋政策学会副会長　窪川　かおる

〜〜〜

18：00　交流・懇親会　　小柴ホールロビー（会費制）

（注1）プログラム、講演者、時間等は都合により変更する事がありますのでご了解下さい。
（注2）ポスター発表は、会場ロビーでの発表としてオンライン配信は行いません。

【参加募集要項】

ホームページから会員、一般（非会員）を選択し、次に会場参加（小柴ホール）もしくはオンライン参加（ウェビナー）を選択してお申し込みください。（法人会員の方は別選択）

◎参 加 費
会場参加　　：学会員　4,000円　非会員　6,000円　（学生会員無料、学生非会員3,000円）
オンライン参加：学会員　2,000円　非会員　3,000円　（学生会員無料、学生非会員1,000円）
（日本沿岸域学会員の方は会員価格で参加できます）
交流・懇親会　：　一 般　5,000円　学 生　3,000円

◎参加申込
下記URLから会員資格を確認し参加方法を選択してお申し込みお願いします。
https://oceanpolicy.jp/activities/annual

◎事前申し込み、事前支払い制
お支払いは、クレジットカード、コンビニ、ペイジーのいずれかとなります。
（使用可能クレジット、コンビニはお支払い画面で確認ください）
銀行振込でのお申し込みは受付けておりません。

◎申し込み〆切り　　11月20日
キャンセルは11月25日まで、26日以降のキャンセルは返金いたしません。

◎その他
お問い合わせはメールでお願いします。　office@oceanpolicy.jp